

えびの

ボランティア
センターだより

第26号

2025年3月19日

福祉体験の感想を
まとめていただきました加久藤小学校
4年生 福祉体験

1/21加久藤小学校4年生の福祉体験(高齢者疑似体験)が行なわれました。高齢者疑似体験セットを装着することで、目が見えづらくなったり、腰や手足の曲げ伸ばしが制限されます。体験した生徒のYさんは「高齢者の方の気持ちや大変さがわかりました。困っている人を見かけたら声をかけ助けてあげたい。それが当たり前できるようにしたい」と感想を書いてくれました。





カレーの日 (こども食堂)

12月のカレーの日(こども食堂)では餅つき体験を実施しました。下の写真はその時の様子です。餅つきを初めて目にするこどもたちばかりでみんな興味津々でした。出来立てのお餅に自分であんこを詰めてアツアツの状態でお餅はとて美味しかったようです。

このように季節のイベントを取り入れながら、日頃味わえない事を、カレーの日(こども食堂)で体験して欲しいと考えています。令和7年度からは、こどもだけでなく地域の皆さん誰もが集える居場所として、「こども・地域食堂」に名称を変更しますので、ぜひ皆さん遊びに来てください。



視覚障害者福祉会の視察研修をサポート (えびの朗読会・やまびこ)

視覚障害者福祉会では、ボランティアさんの協力のもと人吉市にある「ひみつ基地ミュージアム」の視察研修を行いました。ミュージアム内では、ボランティアさんに館内の展示物を説明してもらいながら見学を行ない、昼食時には料理の説明や皿の位置をクロックポジションの技法を使いながら介助いただきました。

※クロックポジションとは・・・視覚障害者の方に、位置や方向を時計の短針の向きで伝える方法です



第4回 傾聴ボランティア「上手な話の聴き方」研修会(初級編)を開催しました



宮崎市より精神対話士の増田先生をお招きし、第4回傾聴ボランティア養成講座「上手な話の聴き方」研修会を開催しました。

研修会には13名の方が参加され、お隣の方とペアになりロールプレイを行いながら、相手を尊重し反論や否定をしない「受容」と「共感」の基本、「うなずき」や「あいづち」など傾聴に必要な技法を体験していただきました。是非、これからの地域活動やご近所付き合いなどに生かしていただきたいと思います。

小中学校と施設を つなぐ折り紙

今年度、デイサービスに通う高齢者の方々が、市内小中学校の図書館に飾る季節の折り紙づくり（花びらなど）を手伝っていただきました。折り紙を受け取った子どもたちは、その後、図書館に季節の花を飾ってくれました。高齢者と子どもたちを繋ぐステキな取り組みです。高齢者は子どもたちが喜ぶ顔を想像しながら、楽しく作成していらっしゃいました。



暮らしねっとサポーター 養成研修を開催しました

令和7年1月27日と2月3日の2日間、第11回暮らしねっとサポーター養成研修を開催しました。暮らしねっとサポーターとは、高齢になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい！その想いを支えるのが、暮らしねっとサポーターです。受講により助け合いの意識を高め、地域の困り事の解決を一緒に考えます。今回は、グループごとに仮想自治会を作り、自治会の困り事解決に向けて楽しく意見交換を行いました。終了後のアンケートで感想をいただきました。



「今まで知らない
ことがたくさんありました。この養成
研修を受けてよかったと思います。自治会長さん
ともお話ししながら明るい自治会になるように協
力したいと思います。」

地区内の日頃の交流の大切さを感じた。

困っている人に支援の輪を広げたい。



種まきの様子



勉強会の様子



私たちと活動しませんか

えびのEM研究会では、毎月、食の安全に関する勉強会や有機野菜作り、京町二日市出店、EM土団子河川投入などの活動を行っています。現在の会員は27名で、30代から80代と幅広く、いつも明るく笑いの絶えない活動を行っています。新規会員を募集していますので、興味のある方は、ボランティアセンターにお問合せください。



12月と1月の子ども食堂に、収穫した有機野菜（じゃがいも20キロ、人参10キロ）を提供しました。

令和7年度 ボランティア活動に関する保険の加入手続きが始まりました

継続して加入を希望される個人や団体は、お早めにお手続きをお願いします。

●補償期間 2025年4月1日～2026年3月31日 ●保険料 基本プラン：350円、天災・地震補償プラン：500円



こども服・おもちゃ・育児用品などをご提供ください!

ご家庭で不要になった“こども服・おもちゃ・育児用品”などを欲しい方にお譲りする「お譲り会」を実施しています。「捨てるにはもったいない!誰か必要な方に使ってほしい!」など、ご寄付いただける方は、えびの市ボランティアセンターにお持ち寄り下さい。

持込についてのお願い

- こども服・・・目立つ汚れがなく、比較的きれいなもの。
- おもちゃ・・・目立つキズや汚れがなく壊れていないもの。
- 育児用品・・・部品等に不足が無く安全に使用できるもの。
- その他・・・上記以外については、持込前に一度ご連絡をお願いします。



収集ボランティア活動報告

令和6年6月～令和6年12月までに250キロのエコキャップが集まりました。集まったエコキャップはリサイクル業者を通じて「世界の子供にワクチンを日本委員会」へ寄付させていただきました。今回の寄付金で約41人分のポリオワクチンを購入する事が出来るそうです。ワクチンは開発途上国の子どもたちに贈られ、子どもたちの未来を守る活動に役立てられます。いつもご協力くださる皆様ありがとうございます。



ボランティア募集中!

カレーの日（子ども食堂）運営ボランティアを募集しています。ボランティアは月1回で、活動内容は、カレー調理や会場運営などです。興味のある方は、是非お問い合わせください。

(お申込み先)
えびの市ボランティアセンター



えびの市ボランティアセンター LINE 公式アカウント



友だち追加方法
1

[友だち追加]>
[QRコード]より
QRコードを読み取る。



友だち追加方法
2

[友だち追加]>[ID検索]より
@518itloh
と入力。



ボランティアセンターからの情報をお届けします。是非ご登録ください!

えびの市ボランティアセンター 電話 35-2800
(えびの市社会福祉協議会) FAX 35-1983